

歩学年の皆さんへ

○卒業を迎える皆さんへ ～ 一人一人が、希望ある未来を切り拓くために送る言葉 ～

いよいよ明日卒業式を迎え、3年間の中学校生活が区切りとなります。卒業を迎えるにあたって、以前放映されたドラマ「ドラゴン桜」で、卒業式の日、主人公が生徒たちに伝えた言葉を紹介합니다。

ドラマ「ドラゴン桜」最終回より(一部抜粋)

いいかお前ら 人生で一番大事なのは 東大に行くことでも 勝つことでも 結果を出すことでもねえ
お前らが目標に向かって過ごした一分一秒 自分の人生を変えようがむしやりに努力した
その道のり 熱意 そして仲間への思い それこそに価値がある

【中略】

お前らが真っすぐな思いで突き進む時 その姿は 他の誰かを動かす原動力になる
自分を信じて まっすぐ突き進め そうすりゃいつか その姿は 人に勇気を与え
希望を与える お前らの熱意が 努力が 思いやりが 周りの人間を突き動かす
そして それは巡り巡って いつか社会を変えていくんだ

人生を切り拓け 常識を変えろ

こっからの未来をつくっていくのは 国でも環境でもねえ お前ら自身だ

【中略】

お前らには 仲間がいる その輪を広げていけ いいか 自分の信じる道を行け

人生で大事なことの一つは、「本気」の姿を行動で示すことだと考えます。目標に向かって本気で努力した過程、思いは必ず何かの価値を残します。そして、その姿は周りにいる人たちに勇気を与えます。周りにいる仲間に「本気」が伝われば、巡り巡って自分がさらに先に進むためのエネルギーとして返ってくるはずで。成長することを信じて、さまざまなことにチャレンジしていきましょう。

また、皆さんは、この1年、何ができるかを自分たちなりに考え、いくつも実現することができました。それを可能にしたのは、実現したいという一人一人の思いと、実現に向けて一緒に取り組んだ仲間がいたからだと考えます。

成長は、人との関係によってもたらされます。一人でがんばり続けるのはなかなか難しいですが、周りを意識して、一緒にがんばったり競い合ったりすることで、一人で取り組むよりもより成長する可能性が高まります。これまで出会った仲間、これから出会う仲間を大切にして、これからの人生を充実したものにしてください。

先生の座右の銘は「情けは人のためならず」です。「人に情けをかければ、その人のためになるだけではなく、やがては巡り巡って自分に返ってくる。だから、人には親切にしろ」という教えです。周りにいる人たちを大切に思うことが、最後は自分を大切にすることにつながっていきます。自分自身、自分の周りにいる仲間、そして、家族を大切にして、これから生きてください。



皆さんは、「歩学年」として、この3年間を歩んできました。さまざまな経験を積み重ねるごとに前進し、大きな成長を遂げることができました。

「歩」という漢字は「少」という字と「止」という漢字が組み合わさってできています。いつも全速力でなくてもいいんです。時にはゆっくりでも、少し止まっていいんです。動き出すときは、自分のペースでよいので前を向いて進んでください。そうすれば、いつか振り返ったとき、確かな足跡が残っているはずですよ。それを信じて歩いてください。



皆さんと過ごした3年間で、たくさんの喜びや感動を共有することができて、本当に幸せでした。それは、皆さんが素直で温かさにあふれていたからだと思います。そのよさをこれからももち続けて、自分と周りの人たちを温かな気持ちにしていってほしいです。

最後に、これからも

あたりまえのことを、ばかにしないで、ちゃんと、できる人
いつでも、どこでも、誰に対しても、正しい判断と行動ができる人

であってください。



保護者の皆様へ いよいよ明日が卒業式です。保護者の皆様のさまざまな支援があったからこそ、この3年間での取組を充実したものにできたと感じています。それぞれの進路先で、自分自身のもっている力をさらに高めていき、それぞれの人生が豊かになることを願っています。3年間、学校・学年の教育活動に関しまして、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。